

東日本大震災 被災地からの報告

義援金についてのご報告

義援金総額

2,761,000 円

会員の皆様からのご意見をいただき、以下の通り義援金・復興支援金としてお支払いしました。

●高橋徳治商店 500,000 円

工場もご自宅も全半壊し、地盤沈下などのため工場再建のめどがまだ立たない状態です。しかし、事業再開し、石巻から本当にいいものを届けたいと意欲をもってお話されています。

●パプアニューギニア海産 500,000 円

工場が全壊し、原発の影響も考え、大阪府茨木市へ移住されています。従業員 1 人と、安全でおいしいエビを届けようと事業再開を積極的に考えていらっしゃいます。

●八木澤商店 300,000 円

蔵や工場が全壊。従業員は解雇せず、大豆や小麦作りから積極的に行って、地域を元気にしたいと活動されています。

●溝畑水産 250,000 円

牡蠣やあさりの圃場が津波の被害にあい、多くが流されました。いくつか牡蠣は見つかったものの、それが成長するかは分からない状態。種がきの数も少なく、数年収入の激減が予測されます。現在は圃場の修理や別の事業ができるかと考えていらっしゃいます。

●丸友しまか 250,000 円

1ヶ月収入が途絶えましたが、工場、自宅とも無事です。今後もおいしい魚を届けたいと大変積極的に考えていらっしゃいます。

◎みんなの未来へのお支払い

4月4週配布チラシより「風評被害というけれど」をお読みいただき、原発被害で野菜の放射能測定や、その結果から出荷見合わせを検討してくれたみんなの未来の根岸さんらについて、「義援金を使って欲しい」という声がたくさんありました。国の基準によらず、安全のための判断をしてくれた根岸さんたち。私達もやみくもに放射能を怖がるのではなく、適切に判断をし、被害を受けられている生産者の事も忘れてはなりません。作付けをお願いした野菜の出荷停止分など、まずは東電への損害賠償を求め、その支援を考えています。その状況に応じて義援金の支払いを致します。

◎残金について

残金は 961,000 円です。今後の支援や、原発被害のことも考慮し残金をプールします。今後出てくる被害状況にあわせてお支払いしていきます。

◎今後について

被災者の方に継続的に支援していくことが必要であること。また、少しずつでも今回の災害について風化させる事無く必要な支援を続けたいという声が大変多く、名古屋生活クラブの会員、生産者、流通が支えあうことの出来るつながりが、いかに大きなものであるかを感じました。

次回、7月にもう一度義援金を受け付ける予定です。その際には、どうぞよろしくご報告申し上げます。